



平成30年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社フォーシーズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3726 URL http://www.4cs-holdings.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 洲崎 智広
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室 室長 (氏名) 内野 紗希 (TEL) 092-720-5460
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第3四半期の連結業績 (平成29年10月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第3四半期	1,668	△20.8	54	△43.9	47	△68.6	△2	—
29年9月期第3四半期	2,107	△37.9	97	△44.9	149	△7.4	202	357.3

(注) 包括利益 30年9月期第3四半期 △2百万円(—%) 29年9月期第3四半期 202百万円(357.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第3四半期	△0.43	—
29年9月期第3四半期	29.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第3四半期	3,168	1,477	46.4
29年9月期	3,268	1,478	45.1

(参考) 自己資本 30年9月期第3四半期 1,471百万円 29年9月期 1,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年9月期	—	0.00	—	—	—
30年9月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 平成30年9月期の配当予想につきましては未定です。

3. 平成30年9月期の連結業績予想 (平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は対前期増減比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,300	△13.8	100	△9.9	81	△49.7	10	△95.0	1.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年9月期3Q	6,973,470株	29年9月期	6,973,470株
② 期末自己株式数	30年9月期3Q	106,630株	29年9月期	105,870株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年9月期3Q	6,867,252株	29年9月期3Q	6,868,149株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、当社の事業を取り巻く経済情勢、市場動向等に関する様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用情勢の改善、設備投資の増加等を背景に、緩やかな回復基調の動きが続いております。一方で、米国の保守主義政策による貿易摩擦など国際経済の不確実性も依然として懸念されており、不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、中長期的な更なる成長に向けて、各事業会社がそれぞれの特性に合わせた積極的な施策を推進してまいりました。

また、前連結会計年度にクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことにより、前第3四半期連結累計期間に比べて、売上高が424,220千円減少しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,668,063千円（前年同四半期比20.8%減）、営業利益54,742千円（同43.9%減）、経常利益47,058千円（同68.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失2,938千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益202,684千円）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。なお、前連結会計年度において、「カラーコンタクトレンズ事業」を営むクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことにより、当連結会計年度における当社の報告セグメントは、「コミュニケーション・セールス事業」及び「化粧品卸事業」の2セグメントとなっております。

(コミュニケーション・セールス事業)

コミュニケーション・セールス事業におきましては、新たな顧客層の取り込みとリピート率の向上を図るための施策に取り組んでまいりましたが、新規顧客の獲得に苦戦する状況が続いております。その他、Web・スマホ対応にも注力してまいりました。これにより売上高1,133,975千円（前年同四半期比7.2%減）、セグメント損失12,571千円（前年同四半期はセグメント利益13,822千円）となりました。今後も引き続きラジオによる新規顧客の獲得や、Web販売強化のためのサイト構築など、積極的なマーケティング活動を行ってまいります。

(化粧品卸事業)

化粧品卸事業におきましては、古くなった角質を除去するための商品『ナチュラルアクアジェル Cure』及び岩塩を原料とする入浴剤『Cure バスタイム』は依然として、市場でも高い評価を受けております。本年2月から販売開始しております、酵素の力で汚れを落とす『エクストラオイルクレンジング Cure』及び、酵素で汚れを分解し泥で吸着させる『スペシャルパウダーソープ Cure』の2つの商品は、順調に販売店舗数を広げております。さらに、6月には肌のひきしめ効果と馬プラセンタに含まれる保湿成分にこだわった美容液化粧水『モイストセラムローション Cure』の販売を順次開始しております。これにより売上高537,458千円（前年同四半期比16.6%増）、セグメント利益132,700千円（同7.4%増）となりました。今後も新商品の導入などを行ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は3,168,131千円(前連結会計年度末3,268,285千円)、その内訳は流動資産2,528,125千円、固定資産640,005千円となり、前連結会計年度末に比べ100,153千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金の増加91,679千円、商品及び製品の増加61,073千円、その他流動資産の減少214,818千円、のれんの減少34,887千円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は1,691,043千円(前連結会計年度末1,790,208千円)、その内訳は流動負債816,090千円、固定負債874,952千円となり、前連結会計年度末に比べ99,165千円減少いたしました。これは主に、買掛金の増加18,077千円、未払法人税等の増加9,373千円、株主優待引当金の減少29,522千円、長期借入金の減少107,211千円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は1,477,088千円(前連結会計年度末1,478,076千円)となり、988千円減少いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純損失2,938千円を計上したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成30年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,838,641	1,930,320
売掛金	143,632	149,667
商品及び製品	264,847	325,920
原材料及び貯蔵品	22,409	20,231
その他	316,840	102,022
貸倒引当金	△12	△36
流動資産合計	2,586,358	2,528,125
固定資産		
有形固定資産	33,349	33,182
無形固定資産		
のれん	164,732	129,845
顧客関連資産	368,807	343,076
その他	72,383	84,633
無形固定資産合計	605,922	557,555
投資その他の資産	42,653	49,267
固定資産合計	681,926	640,005
資産合計	3,268,285	3,168,131
負債の部		
流動負債		
買掛金	41,643	59,721
短期借入金	450,000	450,000
1年内返済予定の長期借入金	154,072	144,964
未払法人税等	3,375	12,749
賞与引当金	14,653	9,000
返品調整引当金	825	869
株主優待引当金	29,522	—
その他	138,038	138,786
流動負債合計	832,132	816,090
固定負債		
長期借入金	870,810	763,599
資産除去債務	17,153	17,190
その他	70,112	94,163
固定負債合計	958,076	874,952
負債合計	1,790,208	1,691,043
純資産の部		
株主資本		
資本金	882,788	882,788
資本剰余金	348,117	348,117
利益剰余金	273,855	270,917
自己株式	△29,938	△30,345
株主資本合計	1,474,823	1,471,477
新株予約権	3,253	5,610
純資産合計	1,478,076	1,477,088
負債純資産合計	3,268,285	3,168,131

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
売上高	2,107,309	1,668,063
売上原価	735,299	391,975
売上総利益	1,372,009	1,276,087
返品調整引当金戻入額	994	825
返品調整引当金繰入額	871	869
差引売上総利益	1,372,132	1,276,044
販売費及び一般管理費	1,274,603	1,221,301
営業利益	97,528	54,742
営業外収益		
受取利息	4,546	2,945
貸倒引当金戻入額	64,249	—
受取手数料	264	—
その他	4,163	1,243
営業外収益合計	73,223	4,189
営業外費用		
支払利息	14,528	11,728
事務所移転費用	5,877	—
その他	567	146
営業外費用合計	20,974	11,874
経常利益	149,778	47,058
特別利益		
新株予約権戻入益	7,695	—
子会社株式売却益	108,459	—
特別利益合計	116,154	—
税金等調整前四半期純利益	265,932	47,058
法人税、住民税及び事業税	29,766	26,733
法人税等調整額	33,481	23,262
法人税等合計	63,248	49,996
四半期純利益又は四半期純損失(△)	202,684	△2,938
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	202,684	△2,938

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成29年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	202,684	△2,938
四半期包括利益	202,684	△2,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202,684	△2,938
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成29年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	コミュニケーション・セールス事業	化粧品卸事業	カラーコンタクトレンズ事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,222,279	460,809	424,220	2,107,309	—	2,107,309
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	144	—	144	△144	—
計	1,222,279	460,953	424,220	2,107,453	△144	2,107,309
セグメント利益又は損失(△)	13,822	123,510	△70,073	67,260	30,268	97,528

(注) 当第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日とし、カラーコンタクトレンズ事業を展開していたクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡したことにより、当該事業については、第2四半期連結累計期間までの業績を含めております。

当第3四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額
	コミュニケーション・セールス事業	化粧品卸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,130,640	537,422	1,668,063	—	1,668,063
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,334	36	3,370	△3,370	—
計	1,133,975	537,458	1,671,433	△3,370	1,668,063
セグメント利益又は損失(△)	△12,571	132,700	120,128	△65,386	54,742

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
報告セグメント計	67,260	120,128
全社収益(注)1	170,700	173,700
全社費用(注)2	△142,627	△177,726
その他の調整額	2,196	△61,359
四半期連結損益計算書の営業利益	97,528	54,742

(注) 1. 全社収益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料等であります。

2. 全社費用は、当社における持株会社運営に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの資産に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日）

当第3四半期連結会計期間において、カラーコンタクトレンズ事業を展開しておりました連結子会社であるクレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡し、当第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、連結の範囲から除外したことに伴い、カラーコンタクトレンズ事業のセグメントの資産が904,717千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日）

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日）

（のれんの金額の重要な変動）

カラーコンタクトレンズ事業において、連結子会社であるクレイトン・ダイナミクス株式会社を連結の範囲から除外したことにより、のれんの金額が37,537千円減少しております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日）

該当事項はありません。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年10月1日 至 平成29年6月30日）

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年10月1日 至 平成30年6月30日）

当社は、前第3四半期連結会計期間期首をみなし売却日として、クレイトン・ダイナミクス株式会社の全株式を譲渡し、連結の範囲から除外したことに伴い、第1四半期連結会計期間より「カラーコンタクトレンズ事業」を報告セグメントから除外しております。